

## 長崎ため池保全管理サポートセンター(令和3年5月)開設

近年、梅雨前線や台風による大雨などによって、ため池が被害を受けるケースが多く発生しています。このため、防災重点農業用ため池を管理されている方に、ため池の適正な保全管理や大雨などに対する安全性の確保に必要な対策を取っていただくため、専門技術者による相談対応や現場での助言などを行う「長崎ため池保全管理サポートセンター」を設置することとしました。

相談は以下をお願いします。

**サポートセンター相談窓口**

**(095) 801-1880 (平日10~17時)**

- 対象ため池は防災重点農業用ため池になります
- ご相談(お電話)の際には、  
①ため池の所在地、②ため池の名前、③ため池番号※をお知らせください。  
(ため池番号は市担当窓口で確認ください)
- 相談でお越しの際には、あらかじめ電話でのご予約をお願いします。

## 【相談後の対応】

○専門技術者による助言  
ため池の状況をお聞きし、補修や適正な管理のための助言を行います。  
必要に応じて、現地に対応します。

○現地パトロール  
防災重点農業用ため池の保全・管理状況を現地にて確認します。



## 長崎ため池保全管理サポートセンター

〒850-0057

長崎市大黒町9-17

TEL : 095-801-1880

FAX : 095-820-6836

長崎県土地改良事業団体連合会  
技術部技術課内



もとぐされ

## 「サツマイモ基腐病」に要注意！

- ◆「サツマイモ基腐病」が鹿児島県、宮崎県を中心に猛威を振るっており、令和2年に、長崎県内でも本病の発生が初めて確認されています(吉岐市内では未発生)。
- ◆この病気はさつまいもの生育不良やいもの腐敗等の被害を及ぼします。
- ◆一旦発生すると防除が難しいため、栽培の際は予防対策を徹底、また病気が疑われる場合には速やかに処分いただくなど、蔓延防止にご協力ください。

## 【基腐病の症状】

- 地際の茎(つる)が黒変し、茎葉が繁茂する時期には黒~黒褐色に変色し枯死します(写真①)。
- 塊根(イモ)は、なり首から腐敗します(写真②)



写真：長崎県病害虫防除所

## 【サツマイモ基腐病の予防対策】

- 種イモや苗を購入する際には、**健全なもの**であるかよく確認する(例)黒変や腐敗部位、傷が無いなど
- 苗の植付け前には**必ず消毒**する  
※消毒液は必ず使用する当日に調整して使用
- ほ場で使った道具の洗浄
- 苗床や畑で、発病が疑われる株を発見したら、**速やかに苗床や畑の外に持ち出し**、適切に処分
- 発病が疑われる株の周辺株への感染予防のため、薬剤防除を徹底

**苗の消毒**  
ベンレート水和剤  
(500~1,000倍)  
苗の基部を  
30分間浸漬



「サツマイモ基腐病」が疑われる症状を見かけたら、最寄の振興局、J A、市または県病害虫防除所へご相談ください。

お問合せ先

農業振興普及課  
0920-45-3038